

和光市廃棄物減量等推進審議会会議録(要録)

- 1 日 時 平成16年9月30日(木)午後1時30分~午後4時10分
- 2 場 所 市役所602会議室(6階)
- 3 出席者(敬称略)
【委員】 柴田 充、西川政晴、齋藤和康、伊藤 茂、原 光子、岸 佐登美、志村浩明、井上敬三、竹村幸子
【事務局】 荒木市民環境部長、資源リサイクル 柳下課長、 富澤課長補佐、並木清掃センター所長、田辺リサイクル推進担当統括主査 河野廃棄物対策担当統括主査
- 4 欠席者 【委員】 尾崎弘子
- 5 傍聴者 なし
- 6 次回開催予定 平成16年11月8日 午後1時30分 和光市清掃センター(現地視察と会議)

○荒木部長 開催に先立ち、市民参加条例第12条第4項の規定により審議会等の会議は原則的に公開となっておりますので、ご了解願います。

それでは、第1回和光市廃棄物減量等推進審議会を開催します。私は市民環境部長の荒木です。早速和光市長から委嘱書をお渡しします。

(市長が委嘱書を読み上げ手渡しして回る。富澤課長補佐が委嘱書を持つ)

○荒木部長 続いて野木市長がご挨拶します。

○野木市長 ご多用の中、ご出席いただき誠にありがとうございます。本日は、和光市廃棄物減量等推進審議会委員を快く引き受けて頂き感謝申し上げます。現在の廃棄物行政の基となっている和光市一般廃棄物処理基本計画は、平成10年度を策定年として計画期間は15年後の平成24年度までとなっております。この間、様々な取り組みを実施してきましたが、廃棄物を取り巻く環境は、資源循環関連法の施行に伴い大きな転換期を迎えています。社会情勢の変化、時節に合った和光市一般廃棄物処理基本計画の見直しをして頂きますようお願いいたします。

現在の基本計画では概ね5年ごとに弾力的に見直すことになっており、既に6年が過ぎていきますので、今後の取り組みの方向性と内容の充実を含めて基本計画の見直し案を策定して頂きたいとお願いいたします。特に今回は委員全員が和光市民或いは市内業者代表者であり、文字どおり市民の立場に立った身近な計画の見直しが図られることに大きな期待をよせているところです。忌憚のない意見を出して頂き、今後の基本計画案の策定をお願い申し上げて、挨拶とします。

○荒木部長 初めて集まりですので全員で自己紹介をしたいと思います。事務局から始めます。

(荒木部長、柳下課長、富澤課長補佐、並木所長、田辺統括主査、河野統括主査が順次自己紹介を行う。)

次に、委員皆さんの自己紹介をお願いいたします。

(竹村、井上、志村、岸、原、伊藤、齋藤、西川、柴田各委員が順次自己紹介を行い、欠席の尾崎委員については富澤課長補佐が略歴を読み上げる)

○荒木部長 次に、審議会条例第5条の規定で会長、副会長各1名を互選により定めることになっていきますので、井上委員に仮座長になって頂き正副会長の互選を行って頂いた

いと思います。

- 井上委員（仮座長席に移動）指名されたので仮座長を努めさせて頂きます。最年長者が仮座長になるとの慣例によるものと考えます。会長・副会長の選出について意見をだして頂きたい。提案ですが、仕事の都合で欠席する可能性のある人は除いて、意欲のある人は手を挙げてください。手を挙げる人がいませんので提案します。諮問内容が一般廃棄物処理基本計画の見直しですので、環境審議会委員として拘わった西川委員と竹村委員に正副会長就任について話し合ってもらいたいと思います。
- 西川委員 会長はまとめ役であり、私は発言をしたいと思っていますので、就任については躊躇しています。
- 竹村委員 岸委員はリサイクル活動の経験も豊富であり、推薦したいと思います。
- 井上仮座長 基本計画案をまとめるために私の提案を前提に調整して頂きたい。
- 竹村委員 西川委員が会長を引き受けてくださるのなら私は副会長を引き受けても結構です。
- 井上仮座長 会長は西川委員、副会長が竹村委員ということでご異議ありませんか。
（異議なしの声あり）異議ないと認めます。

西川委員が会長、竹村委員が副会長に決まりました。よろしく申し上げます。私はこれで任を解かせて頂きます。

- 荒木部長 会長、副会長はこちらの席に移動してください。（両委員正副会長席に移動）。
会長には会議録のまとめまでお願いしたいと思います。それでは、会長就任の挨拶をお願いします。
 - 西川会長 改めてご挨拶します。会長を努めさせて頂きますが、ざっくばらんな性格ですのでよろしく申し上げます。私の住んでいる集合住宅は転出入が多く和光市の縮図といえますが、ごみの分別排出も2年が経ち甘えが出てきて乱れ始めているように感じます。市全体を見た場合、ごみを減らそうと真剣に考えている人が何%いるのかと疑問になる事態も見受けられますが、会長という立場で市全体のごみ減量に参画することになりますので、皆さんの協力をよろしく申し上げます。
 - 竹村副会長 私が参加している和光市消費生活研究会が毎年消費生活展でグリーンコンシューマー活動の推進を行っており、また、エコアクションとしてごみを自ら減らす運動を推進していますが、子どもの関心が高いのがわかります。和光市でどうしたらごみ減量ができるか、基本計画の中で示せればと考えています。よろしく申し上げます。
 - 荒木部長 会長が決まりましたので、市長から当審議会への諮問を行います。
 - 野木市長 （市長が諮問書を読み上げる 諮問理由は挨拶内容と重複するので省略することを断り、会長へ諮問書を手渡す。）よろしく申し上げます。
 - 荒木部長 市長は次の予定があり、ここで退室させていただきます。
（市長退室）。
- 私の進行役はこれまでとし、以後の進行は西川会長に申し上げます。
- 西川会長 それでは審議会の議事にはいります。配付されている資料について事務局から説明をしてください。
 - 柳下課長 （資料1・会議確認事項等についてを読み上げる。）
 - 西川会長 説明が終わりました。確認や質問事項がありますか。
 - 岸 委員 ワーキンググループには審議会委員はなれないということなのですか。
 - 柳下課長 審議会委員もワーキンググループにボランティアとして参加して頂くことは

可能です。

- 荒木部長 ワーキンググループが必要であるか否かを先に決めて頂きたいと思しますので、その趣旨について事務局から説明させます。
- 田辺統括主査 ワーキンググループが審議会の下部組織となると審議会委員の参加が審議会活動の一環となり、正式には報酬支給が必要となって予算措置が間に合わなくなりますので、5・6名の応募市民を加えた審議会とは別組織とすることにし、審議会委員の参加はボランティアとすれば報酬、予算措置の問題がクリアーできるのではないかとということで、資料1のような少々わかりにくい表現になりました。
- 竹村副会長 有償、無償ということではなく、基本計画見直しの作業から見てワーキンググループの必要の有無を考えるべきだと思います。応募市民が加わるということになれば審議会の役割とダブる部分が出てきて、整理がつかなくなると思います。環境審議会の中で廃棄物についてもいろいろ市民の意見が出されまとまっているので、それを生かすこともできると思います。
- 田辺統括主査 見直し作業の対象は資料3、4で、個々の項目を見直していくことになれば相当の事務量になり、全部審議会でするのは大変ではないかと考えますと、審議会は基本方向を出しそれに沿ってワーキンググループが調査検討を行い、結果を次回の審議会に報告して、それを受けて審議会が結論を出していくという方法がひとつ考えられます。一方、二つの組織の連携の煩雑さを避けるために審議会が全部の見直しを行うことにして、事務局に援助しながら進めるという方法も考えられます。
- 西川会長 ワーキンググループは審議会の補佐的機関ということですが、進め方について経験豊富な井上委員の智恵をお借りしたいと思いますが、どうですか。
- 井上委員 2ヶ月に1回の審議会では期限までに作業が終わるか心配な面があり、ワーキンググループで細部は詰めていくことが必要ではないかと思えます。ワーキンググループの半数は審議会委員が占めない連携がうまくいかないと思えます。
- 柴田委員 費用のことは別にして、連携やスムーズな進捗を確保するという点から考えると、半数は審議会委員が占める必要があると思えます。
- 岸委員 環境基本計画の実行計画の中にごみ有料化などいろいろな方向性が出されているので、それを基に審議を進めるということでも良いのではないのでしょうか。
- 齋藤委員 資料1の中で、最後の詰めを行うため公募市民によるワーキンググループとなっていますが、公募市民等として「等」を入れることにより市民参加の幅も広がり審議会委員も参加でき、見直し作業の進捗も確保できるようになると思えます。
- 竹村副会長 今年9月に環境基本計画実行計画表ができていますので、それと整合性がとれた廃棄物基本計画である必要があると思えます。
- 西川会長 あの実行計画は、廃棄物基本計画の決定を受けて実行されるようになっていたと思うので、こちらで最終決定する必要があることとなります。
- 富澤課長補佐 その表は配付資料5の43ページにあります。これは廃棄物計画の上位計画なので逸脱するわけにはいきません。整合性を保ちながら廃棄物計画を決めていくこととなります。
- 西川会長 審議会の見直し作業をサポートするための公募市民等によるワーキンググループを設置することについてご異議ありませんか。これは今日決定する必要があるのですか。
- 富澤課長補佐 決定されれば広報わこう11月号で募集記事を載せることができます。

- 西川会長 全体像が見えない中では、今日ワーキンググループについて結論を出すことは無理だと思いますので、次回に持ち越しということによろしいですか。
- 竹村副会長 方向性は合意できているし、持ち越すとなかなか決まらないので事務局に案を詰めてもらった方がよいと思います。
- 西川会長 ワーキンググループについては設置することとし、位置づけその他具体的事項は文章化して次回に出して頂くということにしたいと思います。
- 富澤課長補佐 文章化というと設置要綱という格好になると思いますが、次回に案を提出します。
- 井上委員 最終決定は審議会が行うことになるがワーキンググループで出た結論は尊重する必要があると思います。
- 柴田委員 国の委員会では審議会、検討部会、ワーキンググループという形もあり、それぞれ役割が決まっています、また、それぞれで意見が出され、それを尊重しながら最終結論を出していくというやり方をしています。
- 西川会長 配付資料をじっくり読む必要があり、公募市民については年明けでも良いと思います。次回に事務局でまとめた案を参考に結論を出したいと思います。
次に進みます。次の資料の説明をしてください。
- 井上委員 その前に、資料1の内容について審議会としての確認を諮ってください。特に会議録の公表については、発言者に対する個人攻撃を防ぐためにも事前の確認が必要です。
- 竹村副会長 環境審議会では事前に各委員に原稿が送られてきて、誤解のある発言内容などは訂正した後で公表していたので、そのようにすればよいと思います。
- 西川会長 議会の会議録ではないので、より正確に発言者の真意が伝わるものを作成して公表したいと思います。
- 荒木部長 会議録の作成については会長のとりまとめもお願いすることでもあり、発言の真意が伝わるものを公表したいと思います。
- 志村委員 資料1の重点項目の中に生活排水が入ってないが、ごみについてのだけの審議という理解でよろしいのでしょうか。
- 柳下課長 資料4は生活排水処理編であり、それを含めて審議して頂くことになります。
- 西川会長 資料1の内容についてはこれまでの討論を踏まえて承認することによろしいですか。
(異議なしの声あり)。承認することに決しました。
次に資料2について説明してください。
- 富澤課長補佐 この資料は学校の説明会などで使っているものです。(資料2のポイントを読み上げる)。今日は時間が残り少ないため、次回以降必要に応じて詳しく説明したいと思います。職員人件費は該当費用を3等分した大まかなものです。
次に資料3、4に移ります。(廃棄物処理基本計画書を掲げながら)原本はこのようにボリュームがあるもので、在庫がないので資料編を除いてコピーしました。これを見直しすることになりますが、これはコンサルタントに作成させたものですが、最近、各市が自前で簡素化した手作りのものが多いようです。特に生活排水処理編は下水道の整備が進んでいるので2、3ページで済ませているものもあります。
資料5の環境基本計画は上位計画であり、冊子は在庫がありますので入手可能です。必要のある方は申し出てください。

資料6は諸計画の大本である最上位の計画書の抜粋コピーです。

- 西川会長 説明が終わりました。質問がありますか。
- 竹村副会長 資料2で廃棄物の流れはわかりますが、具体的に関わっている事業者がわかる資料がありますか。例えば蛍光管が具体的にどう処理されているのか。
- 富澤主幹 資料はできていますので審議の進捗の中で出していきます。
- 井上委員 ごみの基本計画は11年度策定であり、当時と今日はどのような変化があるのか、それを示す資料が必要だと思います。
- 富澤課長補佐 計画策定後の推移をグラフで表した資料を次回に出します。
- 西川会長 計画をたてるには将来の動きも把握する必要があるので、国が出している方向性に関する情報・資料がほしい。焼却炉についても技術革新がなされているはずで、10年先を見越した計画をたてる必要があると思います。
- 富澤課長補佐 探してみても入手できれば出したいと思います。
- 西川会長 他に質問がないようなので、次回の日程を決めたいと思います。12月は議会があるので11月中旬・初旬になると思います。(11月8日という声あり)。11月8日(月)1時半、清掃センターということにしたいと思います。
- 富澤課長補佐 清掃センターに直接行かれない方は、1時、市役所車寄せに集合、庁用車で同乗していきたいと思います。現場視察なので履き物などもそれなりのものにしてください。
- 岸 委員 清掃センターの見学は環境基本計画づくりの時に済んでいるので、より詳しく説明して頂きたい。
- 並木所長 内部の見学、説明も廃棄物処理基本計画づくりに対応するよう詳しく行いたいと思います。
- 西川会長 第3回は1月後半、第4回は2月第3週、1時半～4時という予定でいきたいと思います。次回までに配付資料をよく読んでおいてください。通知は文書やメールの文字情報で提供してください。今日の会議はこれにて散会します。ご苦労様でした。(午後4時10分)

以 上